

2023年12月16日



報道関係者各位

こども防災協会

災害時に役立つ！「うき」を手作り

【なみのぼうけん】を開催しました！

2023年7月29日(土)～30日(日)【海の中道青少年海の家】

「こども防災協会」は小学生と留学生ボランティアの方々と一緒に、7月29日～7月30日に"いざという時、生きのびる(72時間)こどもを増やすこと"・"さまざまな国の文化や習慣に触れ、共生の感覚を持つこどもを育てること"を目的として、「なみのぼうけん」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環で実施しています。



#### イベント概要

イベント名: ネイチャーぼうけん&防災キャンプ【なみのぼうけん】

日程: 2023年7月29日(土)～30日(日)

場所: 海の中道青少年海の家

参加人数: 合計41名

参加者内訳:こども30名(小学生、内 被災経験 1名)／ボランティア10名／スタッフ3名／バス運転手1名  
ボランティア出身国:全6カ国(ベトナム・アメリカ・ネパール・ミャンマー・フランス・フィリピン)

## 「うき」をつくろう

それぞれ自宅から「浮くかな?」と思うものを持ち寄って、災害時に使える「うき」を作ります。ペットボトルやビニール袋など、身近なものにちょっとした工夫を加えると立派なうきの完成です!その後は海へ移動して、自分の作ったうきで、実際に浮けるのかを試します。最初はうまく浮けなかった子どもたちもいましたが、上を向いてラッコのように持ってみたり、背中につけてみたり。子どもたち同士でアドバイスをしあいながら、水難事故に役立つ知識を楽しく学ぶことができました。また、うきが無く、急に海に投げ出されたらどうする?というシュミレーションもしてみました。上を向いて、力を抜いてできるだけ動かないように...。とこれは結構難しかったようですが、積極的に挑戦する様子が見られました。



## なみのレスキューゲーム

夏に起こる災害やケガの対処法について、クイズを通して学んでいく“レスキューゲーム”。子どもたちは5~6人のチームに分かれ、熱中症の手当てや、どくクラゲに刺されたときの対処法、レスキューロープの結び方など、ひとつひとつ学びながらクリアしていきます。いつになく真剣な表情で挑み、クリアするととてもうれしそうに、次のクイズに挑戦する姿が見られました。



## 参加した子ども・保護者からの声

## <団体概要>

団体名称 : こども防災協会

URL : <http://kodomo-bousai.net/>

活動内容 : 防災に役立つ判断力と行動力を学べる「こども防災キャンプ」を実施しています。キャンプには、留学生ボランティアも多数参加。さまざまな国の文化や習慣に触れながら、災害に関わる英語も一緒に学ぶことができます。



### 日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

### <お問い合わせ先>

団体名: こども防災協会

担当者名: 鹿島 美織

電話: 090-6684-9696

メールアドレス: [volunteer@kodomo-bousai.net](mailto:volunteer@kodomo-bousai.net)